

多くの皆さまのご参加をお待ちしています！！

日本臨床コーチング研究会は、臨床現場のためのコーチング技術を広め、医療技術の向上、チーム医療の円滑化、医療人の個人的な心のケアなどに貢献したいという同士が、日本全国から集まり 2006 年に発足しました。

昨年開催した「スキルアップセミナー2014 in さっぽろ」には、医師・看護師・栄養士・理学療法士・臨床検査技師などの医療従事者 100 名が参加されました。参加者アンケートでは、コーチングを実践する素晴らしさを実感し、もっと学びを深めたいなどの感想を数多くいただきました。その一部をご紹介します。

はじめて参加しました。コーチングについてもはじめてでしたが本当に勉強になりました。色々な場面で有効に使える方法を知り、これから意識して使ってみようと思いました。又、参加したいと思いました。コーチングエクササイズ緊張したけど、実際にやることでよくわかったことも沢山ありました。

チーム医療の構築、大変勉強になりました。又、枕詞は実践ですぐ使っていきます。

講義途中でロールプレイを多く入れてくれるので、すごく参加している実感が得られました。月曜日からコーチングフロー活用していきます。

コーチングは相手の内面に働きかけて「心」が動かないと効果がでないものであり、また、畑堃先生のお話の中でマネジメントにも活用でき、組織が活性化できるということは私にとって新しい発想であり意識して活用していきたいと思います。沢山の職種・立場の方の発言をきけたのも良かったです。やはりコミュニケーションが基本であると強く感じるセミナーでした。

今後コーチングを学んでみたいと心底思えるようなセミナーでした。参加して非常によかったです。積極的にコーチングスキルを使ってみて、いろいろトライしていきたいです。

今までコーチングについてはいろいろと話のみを聞くことが多く、なんとなく知識としてはありましたが、やはり実践で使っていないと活用できないことがあらためて実感できました。ロールプレイは大事ですね。今後も患者にどのようなことができるか、日々勉強していきたいと思います。

畑堃先生の講演内容は人としての原点であるので、とても心に響きました。医療現場だけではなく、全ての事に通じ、とてもシンプルな事だけど中々守れていないな〜と今からキモに命じて、実行したいと思います。

“ただ聴くのではない。目標達成に向けて聴く。”に尽きる気がします。もっともっと学んで行きたいと思いました。今後よろしくお願ひいたします。

具体的な例や、ロールプレイングあり役立ちました。また、このような講習会を作ってほしいと思いました。コーチングを深めていきたいと痛感しました。職場でもとり入れていきたいと思いました。

4人の先生のお話、すべてが印象に残っています。現在、CTPでコーチングを学んでいますが、医療者向けのコーチング・セミナーは、やはり現状に即した内容で貴重な時間となりました。札幌でこんなに沢山の人がコーチングを学ぼうと集まったことがすばらしい事だなあと感じています。

承諾する大切さ。あいさつの大切さ。アロマのよい香り。司会の上手さ、みんな打ちとけられました。

医療安全に携わっていて役割を担っているので「いいにくいこと」「過去のこと」「起こってしまったこと」で話をしなければならないことが多いのですがちょっとした最初の言葉がけで配慮ができるのではないかと思います。また「未来のこと」へつなげるコミュニケーションを実践する、していこう、と思えました。

患者さんの考え、言葉を引き出し、上手に答えられる様、導きたい。これは患者様だけではなく、家族(夫)等にも役立ち友人同志でも言える。枕詞は大切！

畑堃先生のお話はとても楽しくためになった。コーチングは初めて学んだが、医療人に限らずコミュニケーションの上で大変重要なものだということがわかった。ぜひより多くの人に畑堃先生のお話を聞いてほしいと思った。

どのスキルも意識して使い続けるということ。基本を見直し、まずは挨拶から今すぐ実践していこうと思います。

今までは对患者のコーチングをきいて学びたいと思っていましたが、職場環境のことなど初めてきいたので印象に残りました。

とてもすばらしい会だったと思います。内容もそれぞれのパートで個性や特徴があり楽しく学ばせて頂きました。